



令和7年度

安全 安心

農林水産省ガイドラインに基づく
当地比:化学合成農薬5割減・化学肥料5割減

JA阿蘇 特別栽培米栽培(JA米)こよみ



C-3
00089
くまもとグリーン農業 表示マーク

売れる米づくりは基本技術の励行から

JA米とは

- 1.品種確認ができた種子により生産した米穀であること(種子更新100%)。
- 2.農産物検査を受検した米穀であること。
- 3.栽培履歴記帳を確認できる米穀であること。

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
生育区分	播種		育苗期間	移植		活着	有効分けつ期		無効分けつ期	幼穂形成期		穂ばらみ期	登熟期									
水管理	播種によって頑丈な苗を育てる			活着をよくする 深水			浅水		間断灌水	中干し	間断灌水		やや深水	根の活力維持		早期落水をしない						
栽培管理の要点	○種子更新の徹底 ○塩水選・種子消毒 ○箱当りの播種量 100〜150g(薄種粉)			○箱施薬 ○栽植密度坪60株 ○除草剤処理			○ガス抜き		○溝切りの実施	○小干しの実施	○出穂40日前 ケイ酸加里追肥 ○株当たり20本に なったら中干開始		○出穂40日前 ミルキーサイン 葉色3.5〜4.0		○出穂前後は湛水 ○出穂期		○早期落水をしない		○出穂後35日前後			
基肥+穂肥 一発肥料	10a/40kg上限																					
農業使用	エコホープDJ (適温25℃〜32℃ 低温・高温注意)																					

適期刈取目安

●積算温度
850〜900℃
●出穂後35日前後

節間伸長の時期

第1節間
〜1〜+3

第2節間
〜6〜+3

第3節間
〜10〜+4

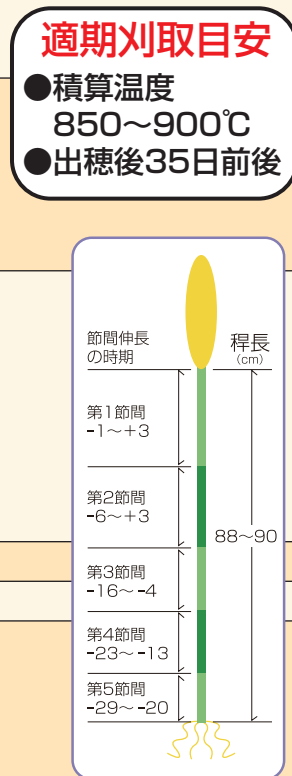
第4節間
〜23〜+13

第5節間
〜29〜+20

稈長
(cm)

88〜90

稲刈後・秋耕



稲刈後・秋耕

月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
生育区分	播種			育苗期間			移植			活着			有効分けつ期			無効分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期											
水管理	播種によって頑丈な苗を育てる						活着をよくする 深水						浅水			間断灌水			中干し			間断灌水			やや深水			根の活力維持			早期落水をしない			落水		
栽培管理 の要点	○種子更新の徹底 ○塩水選・種子消毒 ○箱当たりの播種量 100〜150g(選種粉)						○箱施薬 ○栽植密度坪60株 ○除草剤処理						○ガス抜き			○溝切りの実施 ○小干しの実施			○出穂40日前 ケイ酸加里追肥 ○株当たり20本に なったら中干開始			○間断灌水			○あきげしき穂肥 (出穂前25日)			○出穂前後は湛水 出穂期 (あきげしき)			○出穂前後は湛水 間断灌水			○早期落水をしない (緑色刈取り 適期刈取り 適期刈取り (緑色刈取り 適期刈取り 適期刈取り (緑色刈取り 適期刈取り 適期刈取り		
基肥+穂肥 一発肥料	10a／50kg上限																					10a／15kg上限														
農業使用	エコホーローJ (倉温25℃〜32℃ 低温・高温注意)						プライオリティ は穂時・移植日 ブーンセクハラ						ヒエクリン			移穂後14日 アタック 移穂後15日 ヒエクリン						スタークル剤 (穂揃期)														

あきげしき

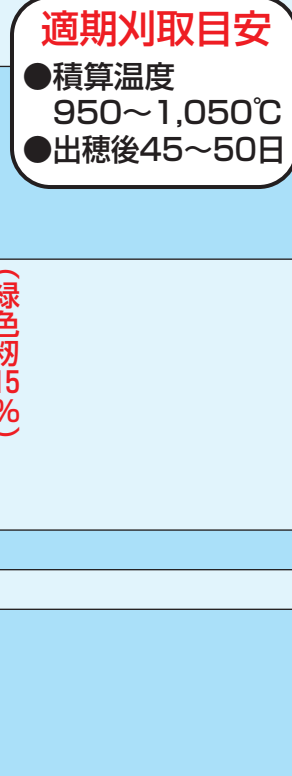
●積算温度
900〜1,000℃
●出穂後40〜45日

稲刈後・秋耕



稲刈後・秋耕

月 旬	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月																	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下															
生育区分	播種			育苗期間			移植			活着			有効分けつ期			無効分けつ期			幼穂形成期			穂ばらみ期			登熟期											
水管理	播種によって頑丈な苗を育てる						活着をよくする						無駄な分けつを させない						根の張りをよくする						穂揃いをよくする						早期落水をしな い					
栽培管理 の要点	○種子更新の徹底 ○塩水選・種子消毒 ○箱当たりの播種量 100〜150g(選種粉)						○箱施薬 ○栽植密度坪60株 ○除草剤処理						○ガス抜き ○小干しの実施						○出穂40日前 ケイ酸加里追肥 ○株当たり20本に なったら中干開始						○出穂前後は湛水 出穂期						○早期落水をしな い					
	○出穂40日前 葉色目安4.0						○出穂25日前 穂肥						○出穂後は湛水						○早期落水をしな い						○早期落水をしな い											
基肥+穂肥	10a／50kg上限																																			
一発肥料	10a／50kg上限																																			
農業使用	※西暦換算 ※西暦																																			



稲刈後・秋耕

土づくり 品質向上は異常気象に負けない『土づくり』から

1. 地力増進の為、稲わら・麦藁の鋤込み、堆肥の投入に取り組みましょう。
2. エンリッチ・ケイ酸加里を使用し、登熟歩合の向上及び品質向上に努めましょう。
3. 堆肥投入及び稲わら鋤込みがない場合アヅミン(腐植酸50%) 30〜40kg/10a投入を行いましょう。
4. 稲刈後の秋耕を努めましょう。

土づくり資材

品名	基肥	中間追肥	特徴
粒状スーパーエンリッチ 1号	60kg		ケイ酸資材を中心に施用し、登熟歩合や後期栄養維持に努めましょう。
アヅミン	30〜40kg		
ケイ酸加里プレミアム 34	40kg	20kg	

塩水選

種子粉の収率	比重	水10%に溶く量	
		食塩(kg)	硫酸(kg)
うるち	1.13	1.94	2.68

・塩水選は充実した種籾を選ぶ方法の一つです。

施肥基準

コシヒカリ・ひとめぼれ・ミルキーQueen

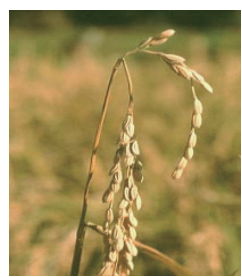
施肥例	使用肥料名	略称	成分量(%)				基肥	穂肥
			N	P	K	Mg		
基肥+穂肥	JA阿蘇特別栽培米有機肥料 206号	有機 206	12	10	6	2	40kg まで	—
	くみあい苦土・有機入り化成 0446号	有機 044	10	4	4	6	—	15kg まで
一発肥料	LPコート入り複合 1500-AC50号	阿蘇おそもん一発	15	10	10	—	40kg まで	—

ヒノヒカリ・くまさんの輝き・あきげしき

施肥例	使用肥料名	略称	成分量(%)				基肥	穂肥
			N	P	K	Mg		
基肥+穂肥	JA阿蘇特別栽培米有機肥料 206号	有機 206	12	10	6	2	50kg まで	—
	くみあい苦土・有機入り化成 0446号	有機 044	10	4	4	6	—	15kg まで
一発肥料	LPコート入り複合 1500-ACD45号	阿蘇おそもん一発	15	10	10	—	50kg まで	—

特別栽培米農薬使用基準

効果的防除は箱処理剤使用の徹底!



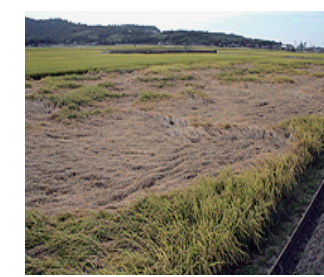
穂いもち



枝梗いもち



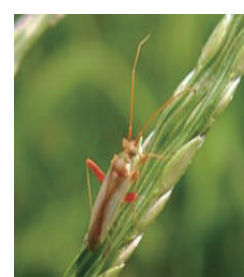
いもち病多発



ウンカによる坪枯れ



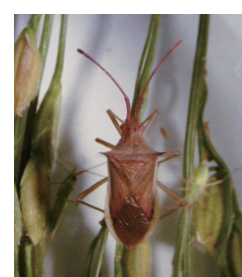
イネミズゾウムシ



ホソヘリカメムシ



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



カメムシの虫害



イネドロイムシ

薬剤区分	薬剤名	10a当たり 使用量	使用時期	使用目安時期	成分数
種子消毒	エコホープDJ	200倍	24時間	種子消毒時	0成分
土壌消毒	ナエファイン粉剤	6〜8g		土壌消毒時	1成分
土壌消毒	ナエファインフロアブル	1,000〜2,000倍		土壌消毒時	1成分
箱施薬	ブーンゼクテラ箱粒剤	一箱50g	は種時〜当日	は種時〜当日	3成分
除草剤	ブライオリティ粒剤	1kg			
除草剤	ブライオリティジャンボ	250g			
除草剤	ブライオリティフロアブル	500ml			
除草剤	ブライオリティ豆粒	250g			
除草剤	ヒエクリン(粒剤・豆つぶ剤)	1kg	移植直後〜ノビエ3.5葉期(但し移植後30日まで)	移植直後〜7日	2成分
除草剤	アトトリ(粒剤・豆つぶ剤)	250g	移植後15日〜収穫45日前まで	移植後15日〜(ノビエ4葉期)	1成分
除草剤	アトトリ(粒剤・豆つぶ剤)	250g	移植後14日〜収穫45日前まで	移植後20日〜(稲5葉期以降)	1成分
本田防除	カスミン液剤	8倍〜1,000倍	発症直前〜発症直後	穂揃期迄	0成分
本田防除	スタークル粒剤・粉剤DL(西原地区使用不可)	3kg	穂揃期	収穫前7日迄	1成分
本田防除	スタークル豆つぶ(西原地区使用不可)	250g	穂揃期	収穫前7日迄	1成分
本田防除	ブラシントレボン粉DL(西原地区のみ使用可能)	3kg	穂揃期〜穂揃期	収穫前7日迄	3成分

使用農薬成分数9成分以内になるようお願いします。

※上記以外の使用については、JA及び県農業普及・振興課までご相談ください。

米は全量JAへ